

第2回 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター介護老人保健施設指定管理者選定委員会 議事概要	
日 時	令和3年7月15日(木) 19時00分～20時30分
開 催 場 所	横浜市役所 18階 さくら14会議室
出 席 者	委員長 渋谷明隆、副委員長 花井恵子、荒井章代、池島秀明、櫻山加奈子、中島礼子
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開(傍聴者 なし) ※提案などに対する評価及び意見交換以降は非公開
議 題	1 優先交渉者の選定 2 その他
決 定 事 項	1 小川憲章委員から池島秀明委員に委員が交代した。 2 議案の上程予定について、令和3年第3回市会定例会から、12月開催の令和3年第4回市会定例会に変更した。 3 応募団体による提案説明及び委員による質疑応答部分までは公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査以降を非公開とした。 4 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスを指定候補者に選定した。 5 委員会の選定結果について、横浜市病院事業管理者に報告することとした。
議 事	<p>1 指定候補者の選定</p> <p>(1) 委員の改選の報告 推薦元団体である横浜市医師会の常任理事の役員改選に伴い、小川憲章委員から池島秀明委員に委員の交代があった。</p> <p>(2) スケジュールの変更の報告 第1回委員会では、9月に開催される令和3年第3回市会定例会に議案を上程する予定と報告したが、12月開催の令和3年第4回市会定例会に議案を上程することとした。</p> <p>(3) 選定の進め方についての確認及び応募資格の確認 事務局から、採点方法、最低基準点(60点)及び選定方法について説明を行った。また、応募者に関し、事前に代表者や役員に暴力団員がいないこと、横浜市税の滞納が無いことを確認済であることを報告した。</p> <p>(4) 応募者による提案説明 提出した資料等に基づき、応募者が提案説明を行った。</p> <p>(5) 提案に対する委員からの質疑 委 員：緊急時の対応について、連携している医療機関とはどこか。 提案者：脳卒中・神経脊椎センター、磯子中央病院、横浜中央病院、汐見台病院、みなど赤十字病院等がある。 委 員：地域との連携に関する考え方として、市内の病院などからの紹介はどのくらいになるか。 提案者：全体の6割が市内医療機関から、残り4割が居宅介護支援事業所などからの入所で、市外からの入所はほとんどない。</p>

委員：職員の育成計画について、教育担当はいろいろな職種の方がいるのか。本部で研修を行うのか。

提案者：施設内にいる看護師、介護福祉士などの職種別に教育担当がいる。また、本部と施設、外部の研修と3つのパターンがある。

委員：開設当初は胃ろうのある患者は若干対応できると聞いたが、胃ろうは難しい状況なのか。

提案者：現在は、普通に受け入れている。

委員：新型コロナウイルス感染症の関係で、御社のケアマネージャーが今までどおり訪問してくれず、不満だったことを聞いた。コロナ禍での苦情の対応はどうか。

提案者：訪問や電話での対応を行っている。コロナ禍では面会を制限しており、リモート（オンライン）の面会や予約制による面会の導入などを行っている。

委員：実績報告について、新型コロナウイルス感染症の影響だと思うが、通所・リハビリが一時的に少なくなり、その後回復しているというか利用実績が伸びているが、どのような工夫を行ったか。

提案者：感染が拡大していた令和2年4月と5月は利用者が急激に減少したが、6月は急回復をした。利用者の家族へ電話や手紙を送り、安心して利用してくださいと伝えてきたことなどで回復し、安定した数字が続いている。

委員：施設内で感染が発生したか。

提案者：現在のところ、施設内では発生していない。

委員：職員体制は常勤者が多いようだが、資格取得支援などは実施しているか。

提案者：最初から資格を持った方が応募することが大半である。本部に採用チームを有している。また新規に就職した人から施設の取組などを知って、2人、3人と応募・採用に続く事例もあった。
また、立地の観点から交通費を若干厚くしている。

委員：コロナ禍でも事業収益は安定しているように見受けられる。また、直近3年の決算書によれば、法人全体で事業利益が前年比約2倍となっているが、これはどのような理由か。

提案者：令和2年度は海老名総合病院でのコロナ専用病床の設置に関する補助金があり、事業収益が増えている。

委員：在宅復帰率が50%以上となる工夫をどうしているか。

提案者：ご本人やご家族を含めて早い段階から何度も面談している。特に家族の懸念が強い、自宅でのトイレや歯みがきなどの生活上の機能に関する点がボトルネックになる。「全員参加のリハビリテーション」として、介護福祉士、栄養士なども参加し、生活に係るリハビリテーションを組織全体で推進している。実際の様子をご家族に見てもらうことも行っている。

委員：身体拘束率はどのくらいなのか。

提案者：基本的にはゼロである。

委員：入所者や職員への新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種は終わっているか。

提案者：本人が希望しない場合を除くと、全員接種を終えている。

	<p>委員：PCR検査で陽性者が出た時の対応手順は決められているか。 提案者：ゾーニングなどは作成している。年12回訓練を実施している。</p> <p>委員：陽性患者が発生した場合の、受け入れ医療機関との連携はどうか。 提案者：グループ内病院（海老名総合病院）が38床のコロナ専用病棟を有しており、何かあったときは受入れに協力できるとの申し出は受けている。</p> <p>(6) 提案などに対する評価及び意見交換 応募者による提案を受け、委員により評価を行った。 各委員の評点を集計した結果、最低基準点を超過していることを確認した。</p> <p>(講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体での安定的かつ余裕のある財政状況がうかがわれる。また、指定期間中の収支計画には特段の問題がないと見受けられる。 ・そのような経営の余裕が、利用者及び職員の満足度向上に資することが期待される。 ・地域医療連携や、地域の多様な利用者に応じた取り組みについては、更に推進の余地があると思われる。 ・歴史が浅いためか、人材育成の点では何かのポリシーが感じられない。 ・リハビリの効果のある人をターゲットに絞って手厚いリハビリをしている印象があるが、そういう施設も必要ではある。 <p>(7) 指定候補者の選定 採点票を用い、事業説明を踏まえて各委員による評価を実施し、集計した。</p> <p>【審査結果】100点満点中76点（最低基準60点） 最低基準点を上回っていることから、社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスを指定候補者に選定することを決定した。</p> <p>2 その他 選定結果を横浜市病院事業管理者に報告することとした。 また、審査結果及び議事概要を横浜市Webページ上に公開することを確認した。</p>
資料・特記事項	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 次第 (2) 委員名簿（令和3年7月15日現在） (3) 座席表 (4) 指定管理者の指定候補者選定の進め方について（資料1） (5) 評価項目及び評価基準 採点票（資料2） (6) 応募者提出資料一式 (7) 応募者提案説明資料 <p>2 特記事項 なし</p>